公共交通地区別座談会
船形地区

開催結果報告書

平成30年10月30日
館山市企画課

【もくじ】

0.公共交通地区別座談会の実施目的　3ページ

1.公共交通地区別座談会（船形地区）実施概要　4ページ

2.船形地区の特徴など　5ページ

2-1.船形地区の位置（GIS地図から）　6ページ

3.館山市の公共交通の現状に関する説明　7ページ

4.路線バスの乗り方、65歳以上の免許返納者向け路線バス割引制度の説明　7ページ

5.グループワーク　8ページ

5-1.船形地区　Aグループで出された意見　10ページ

5-2.船形地区　Bグループで出された意見　12ページ

0.公共交通地区別座談会の実施目的

◆今年度及び2019年度（平成31年度）の2年をかけて策定する「館山市地域公共交通網形成計画」に、地域住民の生の声やニーズを収集し、分析を行う

◆分析結果については、計画内容になるべく具体的に反映させるとともに、当該地域における移動手段の必要性や確保策などについて検討するための資料とする

◆移動手段の必要性や確保策の検討結果を踏まえ、その導入や維持について検討していく

1.公共交通地区別座談会（船形地区）実施概要

【日時】

◆2018年（平成30年）10月24日（水曜日）午後2時から午後3時40分

【会場】

◆船形地区公民館

【参加者数】

◆船形地区住民10名（女性8名、男性2名）

【内容】

◆館山市の公共交通の現状について、資料を用い説明（市企画課職員）

◆路線バスの乗り方、65歳以上の免許返納者向け割引制度説明
（館山日東バス社員）

◆グループワーク

○参加者をA・Bの2グループに分割し、それぞれに市企画課職員を配置

○下記のテーマについて、参加者が意見を出し合い、それを付箋に記入し可視化
・移動について困っていることや課題だと思うことはありますか？また、課題や困っていることを解決するため、住民の皆さんでできることはありますか？
※ファシリテーションは各グループの市職員が担当

○最後に、市職員が各グループで出た意見等を発表

2.船形地区の特徴など

【地区の生い立ち、特徴】

◆館山市北端に位置し、船形漁港を中心に住宅等が密集して立ち並ぶ

◆江戸時代から廻船業が盛んになり、発展をとげた地区

【商店分布・交通の状況】

◆スーパーマーケットが地区内に1軒所在し、医療機関も存在する

◆船形バイパスの敷設が計画されており、完成後は流動が変化すると予想されている

◆JR内房線の那古船形駅が所在するとともに、旧国道127号に沿って館山駅方面から富浦方面に抜けるバス路線が走っている

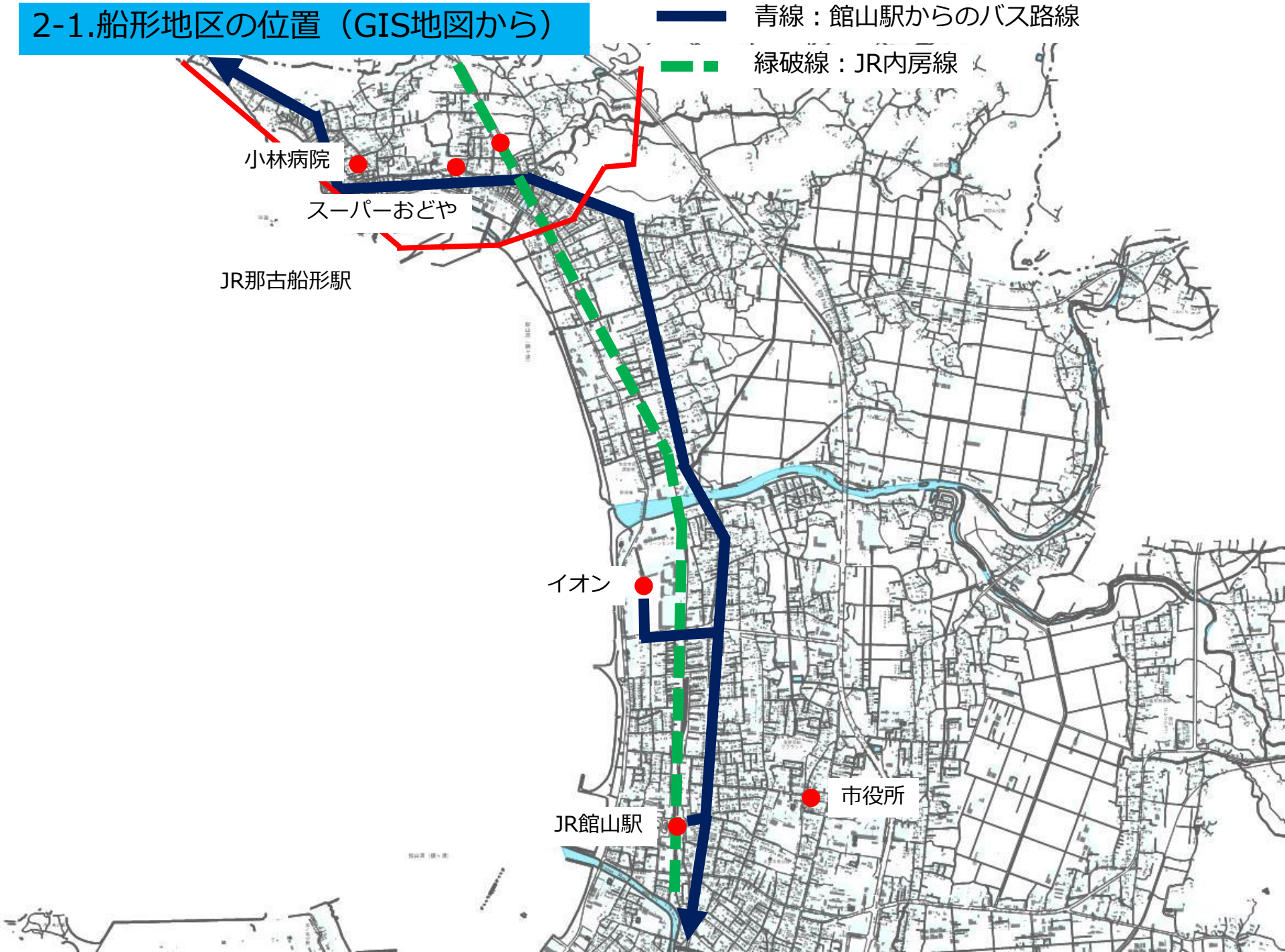
◆川名集落の館山バイパス（トンネル手前）周辺はバス停や駅から離れている

【人口の状況等】

◆4月1日現在、地区人口3,178人（平成20年度比84.6%）
高齢化率44.1%（平成20年度高齢化率34.3%）
集落別高齢化率：船形集落43.7%、川名集落46.0%
古くから家が密集している地域が多く、高齢化の進展が著しい

※住民基本台帳人口を基にした館山市統計データを参照

2-1.船形地区の位置（GIS地図から）



3.館山市の公共交通の現状に関する説明

【説明内容】

◆鉄道・路線バス・タクシーとも、利用者が減少傾向であること

◆加えて、バス・タクシー業界では担い手不足や高齢化が課題であること

◆事業者の独立採算では公共交通の維持が難しくなっていること

◆公共交通を維持していくためには、行政・事業者・住民皆が「自分ごと」として捉え、連携して取り組んでいく必要があること

4.路線バスの乗り方、65歳以上の免許返納者向け路線バス割引制度の説明

【説明内容】

◆基本的な路線バスの乗り方について

◆65歳以上の免許返納者向け路線バス割引制度「ノーカーサポート優待証」の内容や発行方法などについて

5.グループワークの結果（1/2）

○A、Bの2グループに分かれ、意見を出し合った。（結果は10ページ以降に記載）

【主な内容】

◆館山バイパスを経由する路線バス（買物バス）を走らせてほしい

・館山バイパスにバスが走れば、買物や食事などひと通りのことができる
・イオンには路線バスで行けるが、それだけでは用事が済まないときもある

◆ニーズに合った路線バスにしてほしい

・利用者のニーズを分析し、路線の設定を行ってほしい
・需要に合わせ、ルートの設定やバス停の場所変更等を実施してほしい
・市役所に行くバスがない、館山駅まで来ても用事を済ませられない

◆分かりやすい乗り降りの方法・運賃設定を

・整理券を取り、両替して降りるといった乗車方法は分かりづらい
・運賃表の数字も見づらく、料金を払うのが大変

◆運賃を分かりやすく、高齢者への補助を

・全般的に運賃が高いため、高齢者向けのパスや運賃補助を行ってほしい
（年金生活ではバス運賃も負担となってしまう）
・均一料金などを導入し、分かりやすくしてほしい
・医療センター方面に向かうバス等との乗継割引があると負担が軽減される

◆ICカードを導入してほしい

・ICカードがあれば、両替や料金確認など煩雑な手続きをせず、簡単に支払いを済ませられる
・IC定期券（パス）を導入し、購入者が年間使えるようにすれば非常に便利

5.グループワークの結果（2/2）

○A、Bの2グループに分かれ、意見を出し合った。（結果は10ページ以降に記載）

【主な内容】

◆バスの接続改善、フリー乗降制度を

・市内線（船形方面）と医療センター方面の接続が良くないときがあるため、改善してほしい
・手を上げればどこでも止まってくれるフリー乗降制度を導入してほしい

◆ノンステップバスを導入してほしい

・ステップの高いバスは高齢者には乗り降りが大変である

◆ノーカーサポート優待証の手続きが大変、PR不足

・ノーカーサポート優待証の申込み手続きが大変で、使いづらい
・もっと返納者等にPRすることが必要ではないか

◆那古船形駅を、人が集まれるような空間にする

・無人化により、乗り換え案内をしてもらえなくなるのは不便
・他地域でもあるような、「地区住民や来訪者が集える空間」にすれば賑わいが出るのではないか

◆運転手の確保策として、リタイアしたシニア層を活用する

5-1.船形　Aグループで出された意見

※太字下線部分は、Bグループでも出た意見

船形バイパス関連

- 船形バイパス　おどやのどのあたりにかかるか、細かく知りたい
- 船形バイパスへの路線バス乗り入れ計画はあるのか？
- 船形バイパスを契機に港を活用した地域活性化を行う

館山バイパスにバスを

- 買物が不便なため、バイパスを通るバスがほしい
- バイパスを通るバスがほしい　毎日でなくてもよい
- 循環バスをバイパスに通すことはできないか
- 尾張屋に行くバスがほしい
- カインズ、尾張屋などで何でも買えるから、そこに行くためのバスがほしい

バス料金関係

- **バスの料金が高く**、年金生活者にとって困る
- 南房総市のようにバスやタクシーの補助があるとよい
- 高齢者の負担を減らす制度を作ってほしい（運賃補助等）
- 市の高齢者パスなどで支払いできるようにならないか
- 館山駅発のバスが均一料金にならないか
- バス料金が高いのでJRを使う
- バス運賃が1区間で60円くらい上がるときがある　何とかしてほしい
- 文化ホールへは、電車とバスで1,000円以内で行ける

バスのダイヤ、行先

- **自由乗降バスがあるとよい**
- **市役所に行くバスがほしい**
- 鉄道とバスの**乗り継ぎを良くする**　待ち時間が長い
- 循環バスはできないのか？
- **最低1時間に1本はほしい**
- バスが船形駅まで入らなくてもOK（電車に乗る人は歩ける人）
- 可能なら1時間に2本程度バスが走っているといい

タクシーについて

- タクシーはあまり使わない
- タクシーで送迎してもらうと高い
- 昼夜タクシーは1人しかおらず、呼んでも来ない

5-1.船形　Aグループで出された意見

※太字下線部分は、Bグループでも出た意見

ICカードを利用可能に

ICカード（スイカ等）が使えるようにしてほしい

木更津はスイカが使える

ノンステップバス導入

ステップの高いバスは乗りづらい　つまずきそう

ノンステップバスは乗りやすい

地区の状況・課題等

沿線地区は高齢者が多く、新興住宅は若い人が多い

船形は車所有者が少ない

おどやが無くなったら不安

港とバスが連携した利用促進策があるとよい

船形駅無人化のデメリットは？

地区で出来る取組

区の役員などで、バス利用の促進を呼びかける

ノーカーサポート

ノーカーサポートの利用が少なすぎる　もっとPRすべき　地区でも区長等でPRして利用増やす

ノーカーサポートの手続きが煩雑で使いづらい

ノーカーサポートの利用が少ない　PRが必要では？

その他

健康のために電車に乗る

自動運転の実証実験ができないか？

市からの補助金の計算方法を知りたい

5-2.船形　Bグループで出された意見

※太字下線部分は、Aグループでも出た意見

館山バイパスにバスを

- カインズや尾張屋への買物のため、バイパスにバスを
- バイパスにも西岬のような買物バスを導入してほしい

バス料金関係

- **運賃が高い**
- 船形⇒イオン、イオン⇒館山駅の金額が変わらない
- イオンまで、館山駅までの運賃が高い
- バスの運賃を全て同額にする
- 乗継時の割引があると良い
- 運賃を同額にし、乗降はどの扉でも可とする

ノンステップバス導入

- バスのステップがもう少し低くならないか？

バスのダイヤ、行先

- **バスの運行本数が少ない**
- 運行間隔はせめて30分おき、理想は20分おき
- 医療センター方面との**接続を改善**してほしい
- 医療センターからの（市内線と）乗継が悪い
- **市役所に行けない**
- 料金一律の買物・通院バスを走らせる
- **フリー乗降制度の導入**
- 館山鴨川線の本数増と市内線との接続をお願いしたい
- 館山駅に来ても用事を済ませられない
- マイクロ程度のバスで良いのでは？
- 西岬方面に買物バスを出しているが、船形は老人が多いのでマイクロバスを出してほしい
- 停留所の間隔を縮める
- 船形駅にバスを入れる

ニーズに合った路線を

- 利用者のニーズを統計的に検証し路線設定する
- 利用者の需要に応じたルートやダイヤ、バス停の設定
- 需要に合わせ、既存バス停の場所を変える
- 利用者の利便性を考えてほしい　特に病院を巡回してほしい
- 目的地のニーズを考えて経由地を決定する
- ルートとバス停を再検討

那古船形駅関係

- 船形駅が無人化されると聞きたいことが聞けなくなる
- 船形駅を皆が集まれる場所にする
- 船形駅に駅員がいなくなるとバスに乗ることが増えると思う

5-2.船形　Bグループで出された意見

※太字下線部分は、Aグループでも出た意見

ICカードを利用可能に

- ICカードを導入し、簡単に支払いできるようにする
- IC定期券を導入し、年間利用できるようにする

分かりやすい乗り方

- 乗り方を分かりやすくする
- 乗り方を分かりやすく（整理券・両替方式はやめる）
- 乗降や運賃支払の方法が分かりづらい
- バスの走っているルートが分からない

運転手確保策

- シニア層に運転手として活躍してもらう
- 運転手のシフトを午前・午後・夜間等細分化して運用を考える